

件名：新型コロナウイルス対策に関するマダガスカル政府発表（5月16日分）

○ポイント

- 国家保健緊急事態は15日間延長されることとなりました。
- 5月16日（土）、マダガスカル政府が、新型コロナウイルス対策に関する発表を行いました。発表の時点での感染確認件数は累計283件です。
- 事態は刻々と変わりますので、最新情報の入手に努めてください。

○本文

5月16日（土）の新型コロナウイルス対策に関するマダガスカル政府発表の要点は以下のとおりです。

1 5月16日（土）に実施された大統領主催閣議において、マダガスカル全土における「国家保健緊急事態」の15日間の延長が決定され、デクレ（大統領令）により、公布された。これにより、3月21日に宣言され、4月4日、4月17日、5月2日に延長が行われた「国家保健緊急事態」がさらに15日間延長され、緊急措置が適用されることになる。なお、報道によれば、今回の延長を受けて実施される新型コロナウイルス対策にかかる具体的な措置については、17日（日）発表される予定である。

2 定例13時からのCCO（新型コロナウイルス対策オペレーション司令センター）が発表した内容は以下のとおり。

（1）16日45人の新規感染が確認され、累計感染者数は283人となった。2人が新たに快復し、累計快復者数は114人となった。現在の入院者数は169人で、そのうち重症者は3人（+2人）である。死亡者はなし。

（2）新規感染者45人のうち、19人はトアマシナ、26人はアンタナナリボ在住である。アンタナナリボにおける感染者のうち、16人はManarintsoa地区及びIsaotry地区で感染が確認された。これらの人は、5月10日から入院している感染者から感染したと見られている。

（3）3人の重症者については、2人がトアマシナのMorafenobe病院、1人がアンタナナリボのアノシアラ病院に入院している。

（4）67件の再検査のうち、確認がまだ出来ていなかった11件についても、シャルル・メリュー感染症センター（Centre d'Ifectiologie Charles Mérieux）によって検査が終わり、5件の陽性が確認された。これにより、67件の再検査のうち、合計で10件が陽性であった。

（5）検査については、パスツール研究所とシャルル・メリュー感染症センター（Centre d'Ifectiologie Charles Mérieux）の2つの施設において実施されている。昨日の検査

件数は、シャルル・メリュー感染症センターで120件(そのうち19件が陽性)、パスツール研究者で34件(そのうち5件が陽性)、パスツール研究者のモバイルクリニックによるトアマシナでの検査が40件(そのうち16件が陽性)であった。

(6) 鉦山・戦略的資源大臣が出演し、アンバトビーに関して、現在もサイト内に職員が残り、ミニマムサービスを実施している、数週間前からサイトの隔離が行われている、60%の職員が技術的失業(Chômage technique)の状態である旨説明した。

事態は刻々と変わりますので、引き続き政府から最新情報の入手に努めるとともに、手洗い、うがい、マスク着用などの通常の感染症対策を行い、体調に異常がある方は早めの医療機関受診を心がけてください。

【参考：関連する日本のウェブサイト】

新型コロナウイルス感染症(外務省 安全海外ホームページ)

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

新型コロナウイルス感染症について(厚生労働省ウェブサイト)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

日本国国立感染症研究所(コロナウイルスに関して)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-2020-01-10-06-50-40/9303-coronavirus.html>